



関矢 聡史

SEKIYA SATOSHI

1983年 柏崎市出身
2019年 柏崎市で関矢法律事務所を開所

この春、市内駅前に法律事務所を開所した関矢聡史さんは柏崎市出身。弁護士として勤務していた東京を離れ、Uターンで戻った地元柏崎で新たなスタートが始まっている。

弁護士と聞いて硬いイメージの方を想像していたのだが、会ってみると穏やかな人柄、気さくで話しやすいという印象。弁護の事例に話が及ぶと、依頼者のその先の人生を見据えた終着点を模索する、熱い仕事の姿勢に共感を覚えて頼もしく思った。しかし、意外なことに「小さい頃から弁護士になろうと思っていたわけではなかった」という。

関矢さんが弁護士を目指したきっかけは大学進学。法学部法律学科で学ぶうち「法律は面白い」と思ったのが始まりだった。

ふだんの生活で意識することは少ないが、法律とは社会で生きていくためのルール。「法律を知ることによってその時必要な対処の仕方を知ることができる。生活と密接に関連していることがとても面白かった」と当時を思い出す。

大学卒業後、関矢さんは弁護士を目指して法科大学院で3年間学び、勉強の末に最難関の試験ともいわれる司法試験に合格した。

その後の司法研修所では、裁判官、検察官、弁護士の仕事を学んで司法修習を修了。関矢さんはそこでも裁判官・検察官ではな

く弁護士になることを選んだ。

「影響を受けたのは法科大学院での教授との出逢い。実践しながらの授業に引き込まれ弁護士としての仕事の魅力ややりがい、法律の奥深さを改めて感じた」という。

2013年12月に弁護士登録。ようやく弁護士としての人生が始まった。

彼が弁護士として最初に籍を置いた都内の法律事務所は企業専門や一見さんお断りという敷居の高い事務所ではなく、いわゆる町弁。市民が気軽に相談できる、町に根差した法律事務所だった。その後ステップアップのために事務所を移り、銀座にあるかつての恩師の事務所で修業を積んだ後、今年3月に退所。「いつかは柏崎に戻るつもりで、早いほうがいいと思った」とほほ笑む。

今まで扱ってきた案件は離婚・相続・破産・交通事故など生活に密着した内容が多かった。

「知り合いの方やお世話になった方が多い地元では、尚のことお力になりたいという思いは強くある。同じ案件でも依頼者の意向や状況はすべて違い、一つひとつが特別の事案。常に挑戦、勉強させていただいている」と話す。

現在新潟県弁護士会に所属している弁護士は288人。柏崎市内に事務所を構える弁護士は4人目となる。町の規模からすると弁護士の数はとても少ないのが現状だ。

「何か困ったことがあれば一人で悩まず、市の無料相談でもよいので、まずは一度弁護士に相談をしてほしい」と関矢さん。急ぎの案件であれば法律事務所へ問い合わせをしていただくことをおすすめしたい。



お問い合わせ

関矢法律事務所

柏崎市駅前1-4-26 柏崎駅前ビル3階
TEL 0257-41-6252
FAX 0257-41-6253